

## 澁谷工業（6340）

担当 織田真由美

レーティング：**NEUTRAL** (2023/10/12) → **NEUTRAL**

- ※ ボトリングシステムで国内トップ。無菌技術に強み
- ※ 需要堅調、価格転嫁進み業績回復、通期業績予想上方修正
- ※ 今夏発表の中期経営計画に注目

	売上高 (百万円)	伸び率 (%)	営業利益 (百万円)	伸び率 (%)	経常利益 (百万円)	伸び率 (%)	純利益 (百万円)	伸び率 (%)	EPS (円)	1株配 (円)
連20/6	103,619	-4.6	9,366	-9.7	9,560	-7.6	6,471	-16.7	233.89	60.00
連21/6	103,965	+0.3	12,700	+35.6	12,952	+35.5	8,826	+36.4	319.02	70.00
連22/6	96,223	-7.4	13,402	+5.5	13,701	+5.8	9,262	+4.9	334.79	70.00
連23/6	97,842	+1.7	8,039	-40.0	8,171	-40.4	5,928	-36.0	214.29	70.00
連24/6(会社予)	110,000	+12.4	10,500	+30.6	10,500	+28.5	7,500	+26.5	271.08	70.00
連24/6(今村予)	110,000	+12.4	10,500	+30.6	10,500	+28.5	7,500	+26.5	271.08	70.00
第2四半期累計期間										
連22/7-12	43,633	+1.8	2,653	-52.7	2,618	-54.5	2,008	-50.2	72.61	30.00
連23/7-12	51,393	+17.8	4,882	+84.0	4,823	+84.2	3,409	+69.7	123.23	30.00
株価(2024/2/19)			3,135	円						
発行済み株式数(23/12末)			28,149	千株						
自己株式数(23/12末)			482	千株						
時価総額			88,250	百万円						
企業価値(EV)			47,890	百万円						
ROE(23/6実績)			6.8	%						
予想配当利回り(24/6今村予)			2.2	%						
予想PER(24/6今村予)			11.6	倍						
BPS(23/12実績)			3,341.57	円						
PBR			0.9	倍						
CFPS(23/6実績)			175.4	円						
PCFR			17.9	倍						
EV/EBITDA(23/6実績)			3.2	倍						



出所：澁谷工業、ブルームバーグ、今村証券

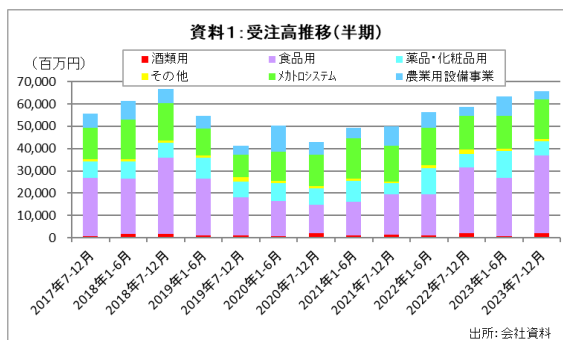
### ※ 会社概要…ボトリングシステムで国内トップ

ボトリングシステムで国内トップ、飲料用の無菌充填システムでは国内シェア 80~90%とみられる。創業以来のボトリング技術をコアにM&Aを通じて技術を蓄積、培ったロボット制御技術や無菌化技術、レーザ技術などによって事業領域を拡大し、再生医療に注力している。

パッケージプラント事業は食品や薬品・化粧品などの業界向けが中心で、安定した需要があることや定期的なメンテナンスが必要なことが収益に寄与している。

### ※ 業績

2024年6月期第2四半期連結業績は増収増益。コロナ禍からの経済回復に伴い企業の設備投資が活発化していることが好調の要因だ。飲料用無菌充填ラインなどを中心に食品用プラントが好調で、受注高は前年同期に比べて11.6%増の655億53百万円と拡大(資料1参照)、部材調達が正常化したことによって生産も堅調で、売上高は前年同期に比べて17.8%の増収となった(資料2参照)。利益については原材料価格やエネルギーコストの上昇、人件費の増



出所：会社資料

加はあったものの、増収要因や生産効率化によって利益率が改善（資料4参照）、営業利益は大幅な増益となった。

資料2：セグメント別売上高・利益

	2022年7～12月期			2023年7～12月期					
	受注高 百万円	売上高 百万円	利益 百万円	受注高 百万円	前年同期比 %	売上高 百万円	前年同期比 %	利益 百万円	前年同期比 %
パッケージングプラント事業	39,716	24,910	2,513	44,173 (	+11.2)	28,417 (	+14.1)	3,982 (	+58.5)
うち食品用	29,500	15,203	-	34,934 (	+18.4)	21,121 (	+38.9)	-	-
うち薬品・化粧品用	6,205	7,285	-	6,354 (	+2.4)	4,771 (	▲34.5)	-	-
メカトロシステム事業	14,855	14,566	957	17,752 (	+19.5)	16,377 (	+12.4)	1,073 (	+12.1)
農業用設備事業	4,181	4,157	189	3,627 (	▲13.2)	6,598 (	+58.7)	873 (	+359.8)
合計	58,752	43,633	3,660	65,553 (	+11.6)	51,393 (	+17.8)	5,929 (	+62.0)

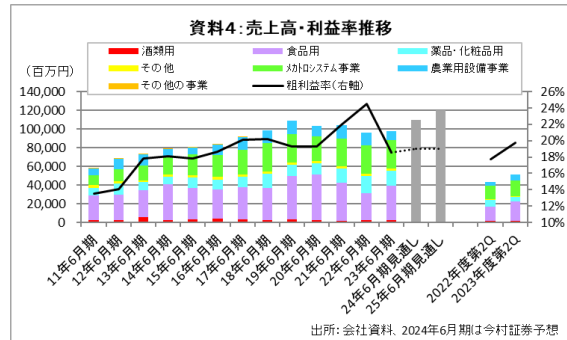
上期業績が想定を上回っての着地となったことに加え、2023年12月末の受注残高が983億10百万円と過去最高水準にあること、下期はアフターメンテナンスに係る工事・部品が増加することから、会社は通期業績予想を上方修正した。売上高は20億円増額し1,100億円と過去最高を見込む（資料3参照）。

資料3：通期業績予想の修正

連結	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	純利益 百万円	EPS 円
前期実績	97,842	8,039	8,171	5,928	214.29
前回予想	108,000	8,900	9,000	6,400	231.32
修正予想	110,000	10,500	10,500	7,500	271.08

来期についても高水準の受注残高が支えとなろう。今村証券では来期業績について、売上高1,200億円、営業利益120億円、純利益85億円、EPS310円を予想する。

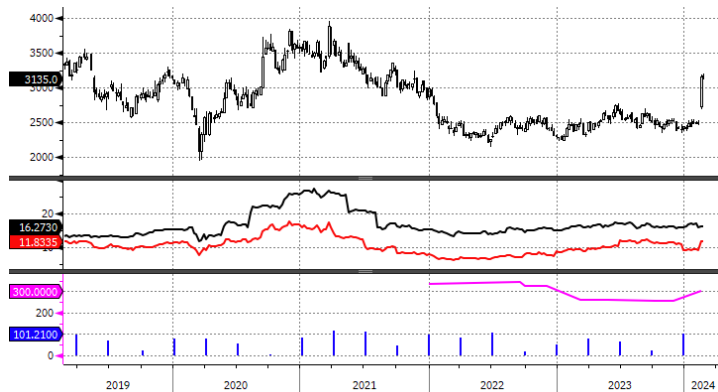
なお、会社は今夏に中期経営計画を公表する予定だ。IRや投資計画を含めての計画となる見通しで、東京証券取引所が要請する「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」にも言及しそうだ。



## ※ 業績予想と投資判断

株価は通期業績予想の上方修正を受けて大幅高となり、2021年11月以来の高値水準にある。業績の変動が大きいだけに足元のバリュエーションは妥当な水準と考えることから、投資判断はNEUTRALを継続とする。

他方、今夏公表の中期経営計画の内容によってはバリュエーションの水準訂正が図られる可能性もありそうだ。中期経営計画に注目したい。



## アナリストによる証明

本資料に示された見解は、言及されている発行会社とその発行会社等の有価証券について、各アナリストの個人的見解を正確に反映しており、さらに、アナリストは本資料に特定の推奨または見解を掲載したことに対して、いかなる報酬も受け取っておらず、今後も受け取らないことを認めます。

## レーティングの定義

OUTPERFORM: 今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンを10%超上回ると予想される。

NEUTRAL: 今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンの+10%と-10%の間に入ると予想される。

UNDERPERFORM: 今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンを10%超下回ると予想される。

トータルリターン: 株価変動率+配当利回り

目標株価は12ヶ月間の投資を想定しており、将来発行されるレポートで修正されることもあります。

本資料に記載された意見及び予想は、記載された日付における今村証券の判断であり、これらは予告なく変更される場合があります。今村証券は本資料の記載された日付以降に内容の変更・修正を行う義務を負いません。本資料はお客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の有価証券売買に関する申込または勧誘を意図するものではなく、お客様に対して投資の助言を提供するものでもありません。また、本資料に記載されている情報もしくは分析がお客様にとって適切であると表明するものでもありません。投資に関する最終決定はあくまでもお客様ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。

本資料に記載された内容は、信頼できると思われる情報、または信頼できる情報源から得た情報を基に今村証券が作成しておりますが、機械作業上データに誤りが発生する可能性があります。当社はその内容の正確性や妥当性、適時性または完全性を保証するものではありませんし、本資料における過誤又は遺漏に対して何らの責任を負うものでもありません。本資料でインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、当社自身のアドレスが記載されている場合を除き、アドレス等の内容について当社は一切責任を負いません。本資料は、当然にお客様の投資結果を保証するものではありませんので、今村証券は、本資料の内容について第三者のいかなる損害賠償の責任を負うものでもありませんし、お客様が本資料に依拠した結果としてお客様が被った損害または損失については一切責任を負いません。また、今村証券は本資料に関するお客様からのご質問やご意見に対して、何ら対応する責任を負うものではありません。

当社および関係会社の役員は、本資料に記載された証券について、ポジションを保有している場合があります。当社および関係会社は、本資料に記載された証券、同証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買いまたは売りのポジションを有している場合があります。今後自己勘定で売買を行うことがあります。また、当社および関係会社は、本資料に記載された会社に対して、引受等の投資銀行業務、その他サービスを提供し、かつ同サービスの勧誘を行う場合があります。

**日本および外国の株式・債券への投資は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより、投資元本を割り込むリスクがあります。**

本資料は当社の著作物であり、著作権法により保護されております。当社の事前の承認なく、また電子的・機械的な方法を問わず、本資料の全部もしくは一部引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

## 今村証券の営業サービスネットワーク

本店：076-263-5111	小松支店：0761-23-1525
弥生支店：076-242-2122	加賀支店：0761-73-3133
七尾支店：0767-52-3122	富山支店：076-432-2131
高岡支店：0766-26-1770	砺波支店：0763-33-2131
福井支店：0776-22-6644	板垣支店：0776-34-6996
敦賀支店：0770-25-3387	

## 株式、債券、投資信託の手数料等およびリスクについて

- 国内株式等の売買取引には、約定金額に対して最大 1.201750% (税込) (1.201750% に相当する金額が 2,612 円未満の場合は 2,612 円 (税込)) の委託手数料をご負担いただきます。
- 国内株式等を募集等によりご購入いただく場合は購入対価のみのお支払いとなります。
- 国内株式等は、株価など売買価格の変動により損失が生じるおそれがあります。
- 外国株式 (外国 ETF、外国預託証券を含む) の外国金融商品市場等における委託取引にあたっては、売買金額 (約定金額に外国金融商品市場における手数料と税金等を購入の場合には加え、売却の場合は差し引いた額) に対し、最大 0.990% (税込) の国内取次手数料をいただきます。外国金融商品市場での取引にかかる手数料、税金等は国 (市場) により異なります。
- 外国株式の国内店頭取引にあたっては、取引価格に取引の実行に必要なコストが含まれているため、別途手数料は必要ありません。
- 外国株式 (外国 ETF、外国預託証券を含む) の売買、配当金等の受取り等にあたり、円貨と外貨を交換する際は、外国為替市場の動向をふまえて今村証券が決定した為替レートを用います。
- 債券を募集・売出し等によってご購入いただく場合は、購入対価のみのお支払いとなります。
- 債券は、市場の金利水準の変動等により債券の価格が変動しますので、損失が生じるおそれがあります。さらに外国債券は、為替相場の変動等により元本損失を生じる場合があります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本損失を生じる場合があります。
- 投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資 1 単位当りの価値が変動します。したがって、お客さまのご投資された金額を下回ることもあります。
- 投資信託にご投資いただくお客様には、銘柄毎に設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費等をご負担いただきます。
- 株式、債券および投資信託のリスクにつきましては、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面やお客様向け資料をよくお読みください。

# 今村証券株式会社

金融商品取引業者 北陸財務局長 (金商) 第 3 号

日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会加入

e\_suishin\_202306